

報國聯盟といふ団体か別個に出来てしまつたのであり
 ます。これを今一つにするといふことは色々な關係で
 一寸難かしいのです。協調會は産業報國聯盟のするこ
 と以外に未だ社會政策に関する諸般の研究調査といふ
 様な仕事もあるし、又産業報國關係の仕事もある。協
 調會と産業報國聯盟といふものはそういう關係で成立
 つたのだから、先が此は二つの団体として、そうい
 へ仕事の上にては互に提携して行く様にした方がよ
 いであらうといふことに理事會では決定したものであり
 ます。

又同評議員會の席上強い合體論者であつた本會常務理
 事町田辰次郎氏はその間の事情と次の如く説明した。

一、一、協調會と産業報國聯盟とが別個に存在してゐ
 るといふことは如何に此の運動を進展する上に於て
 力が弱い様に思ふ、出来得るだけ最つと強力な勞資團
 体を統制した確りした指導機關を中央に作つて、全工
 場鑛山を指導して貰ひたいといふ要習が出たのであり
 ます。就きましては、先般理事會に於て審議を致した
 のであります。其の結果と致しまして、協調會には協
 調會に發せられた産業報國運動とは別個の使命を持つて
 ゐる點がある。そういう點を遂行致して参ります上か
 らいひまして、協調會は産業報國聯盟とは別箇に存
 在して、仕事の上にては協力してやるか、飽くまで
 此別個の存在としてやつて行くことか必要かといふこ